

2024年8月21日

ゴロモンジ郡の脆弱な子どもたちへの教育支援

本日、ゴロモンジ郡のクフンダ初等学校において、脆弱な子どもたちのため、新教室と太陽光発電ポンプ付き井戸の引渡し式が行われ、山中晋一駐ジンバブエ日本大使が出席しました。この教育支援プロジェクトは、草の根・人間の安全保障無償資金協力により91,695米ドルが地元NGOクフンダ・ビレッジ・トラストに資金提供され、同団体が実施したものです。

東マシヨナランド州ゴロモンジ郡は、農村地域で学校数が限られているため、この地区から最も近い公立学校までは12キロも離れており、一部の子どもたちは一貫して教育を受けることができていませんでした。このため、地域コミュニティから要望を受けたクフンダ・ビレッジ・トラストは、2015年にクフンダ初等学校を設立しました。

同校は独自のカリキュラムで人気を博していますが、教室数が限られていたため、コミュニティの子どもたち全員を受け入れることができていません。また、教室棟が3棟しかなく、異なる学年の児童が、薄い仕切り板で区切られた教室棟を共有せざるを得ず、異なる授業を同時に聞くことになり、学習環境は困難を抱えていました。さらに、同校では不安定な上水供給という課題も抱えていました。

このプロジェクトにより、クフンダ初等学校の教育環境は大きく改善されました。児童及び教師は、机と椅子を備えた2つの新しい教室棟で授業が受けられる様になるとともに、太陽光発電ポンプ付き井戸により、飲料水だけでなく、農園や学校での絵画など美術の授業にも必要な水が途切れることなく供給されるようになりました。

クフンダ初等学校の教育環境の改善を通じ、同校児童が学校生活をより有意義に過ごし、独自の才能や可能性が引き出されることが期待されています。同校では、寄宿生徒の受け入れを試験的に開始しており、今後入学児童は100人増加し、最終的には240人となる見込みです。

山中大使は引渡し式において、本プロジェクトが、成功裏に完了したことを賞賛するとともに、新しい教室棟と給水設備を通じて、同校独自のカリキュラムにより児童一人ひとりの能力が向上していくことに胸が躍る気持ちであると述べました。同団体と地域住民に対して「クフンダ初等学校の児童が、質の高い教育を受けられるよう、今後も協力していただきたい。」と呼びかけました。

(引渡し式の状況)



クフンダ初等学校の児童との集合写真



クフンダ・ビレッジ・トラスト関係者・教師との集合写真



本使のスピーチ



本使による新教室棟のテープカット



クワンダ初等学校児童による歓迎のダンス



新たに設置された給水栓で水を汲む児童